

「市民参加懇談会 in さいたま」の概要

平成 1 5 年 1 1 月 2 0 日

1 . 日 時 : 平成 1 5 年 1 0 月 1 4 日 (火) 13:00 ~ 16:30

2 . 会 場 : ラフレさいたま 「 櫻ホール 」

3 . テーマ : 「 この夏の電力危機とは何だったのか 」
- 電力の消費地から安定供給を考える -

4 . 出席者 :

- ・ 原子力委員会

木元原子力委員 (座長) 森脇原子力委員、

- ・ 市民参加懇談会コアメンバー

碧海委員、井上委員、小川委員、

蟹瀬委員 (コーディネーター) 東嶋委員、吉岡委員

- ・ パネリスト

新井 光雄 氏 エネルギージャーナリスト

伴 英幸 氏 特定非営利活動法人 原子力資料情報室

樋口 恵子 氏 評論家

- ・ 関係者

内閣府

経済産業省 資源エネルギー庁

東京電力株式会社

(参加者) 約 1 7 0 名

(プレス) 4 社

5 . 概要 :

(1) 第 1 部 : 新井光雄氏、伴英幸氏、樋口恵子氏により
パネルディスカッションを行い、電力危機が起こった背
景、電力危機が何をもたらしたかなどについてご意見を
伺い、討論を行った。(約 1 時間半)

- (2) 第 2 部 : 市民からのご発言として、参加者 (9 名の
方々からご発言) からご意見を伺うとともに、市民参加懇
談会コアメンバー、パネリスト、関係者から相互の質疑
応答を交えて、活発な意見交換が行われた。(約 2 時間)
- (3) その他 : 参加申し込み時に大停電が起こった場合の
影響、埼玉県域への電力供給の状況などについてアンケ
ートを行い、その結果を配布した (別添)

(第 1 部での発言の例)

- ・ エネルギー政策で重要なのは、安定供給、環境面、経済
性であり、さらに近年は住民投票に代表される社会性が
重要になってきている。
- ・ 今回の電力危機は、実際の原子力発電所の安全性の問題
以上に、言葉だけが先行するなど社会が過敏に反応しす
ぎた面を感じる。
- ・ 電力危機は原子力発電所の必要性を言うために作られ
たものであると感じる。原子力は危ないのだという部分
が薄れて、最終的にはやっぱり原子力は必要だという流
れになった。
- ・ 省エネキャンペーンは効果があった。今年だけで終わら
せては意味ない。ライフスタイルの見直しが進んでいっ
てほしい。省エネ技術を使えば、原子力発電所はいらな
くなくと思う。
- ・ 飽食時代といわれるが「飽電の時代」でもあり、今回の
電力危機で節電の必要性を改めて感じる事ができた。
- ・ ニューヨークの停電の教訓から、電力会社は発電能力も
大事だが、系統ネットワークをあまり合理化しないでほ
しいと思う。
- ・ JCO 事故は、他のシステム産業と同様、マニュアル化
事故である。原子力は、当事者意識を確認し、現場最前

線の知識、技能が合理化で埋もれることのないようにしてほしい。

- ・ 情報公開が大事であり、NPO法人からも情報発信されることは重要だと思う。

(第 2 部での発言の例)

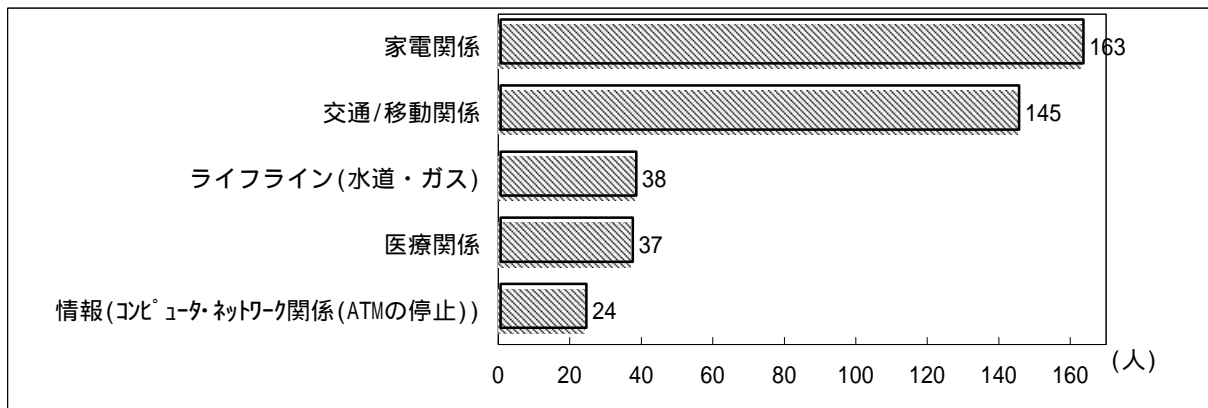
- ・ 保水性建材など省エネルギーの推進、波力エネルギーなどの新エネルギーの導入を積極的に進めてほしい。
- ・ 需要と供給がどのような状態となれば停電になるのか、また、停電を起こさないための対策は何か、わかりやすく説明してほしい。
- ・ 今回の不祥事は、現場の作業員の慣れにあると思う。また、親会社と協力会社の意思疎通が大事ではないか。
- ・ 「でんき予報」はエネルギーに関心を持ってもらう意味で大変よかった。今後も続けるべきではないか。
- ・ 今回の不祥事は、労働組合にとっても盲点だった。労働組合の行動憲章を作るなど独自に取り組んでいる。この夏を停電することなく乗り切るために原子力が必要だったわけだが、組合としては、原子力の安全が確認されなければ就業拒否も辞さない態度で臨んでいる。
- ・ システムエンジニアリングに携わっていた経験から、原子力設備の老朽化が一番心配である。
- ・ コジェネが普及しない原因に、余剰電力の購入価格が安すぎる、余剰熱の使い道に困ることが挙げられる。もっと法的整備を整え、積極的に推進してほしい。
- ・ 家庭の電気を節約してほしいというが、昼間は家に誰もいない家庭も多いのではないかと。高層ビルがどんどん建っているが、電力消費を抑制するようなくみも必要ではないか。
- ・ マスメディアは事件、事故が起こったときだけの報道で

はなく、その後の状況もフォローアップすべきである。
いつも結局のところ、事実は何だったのかよくわからない。

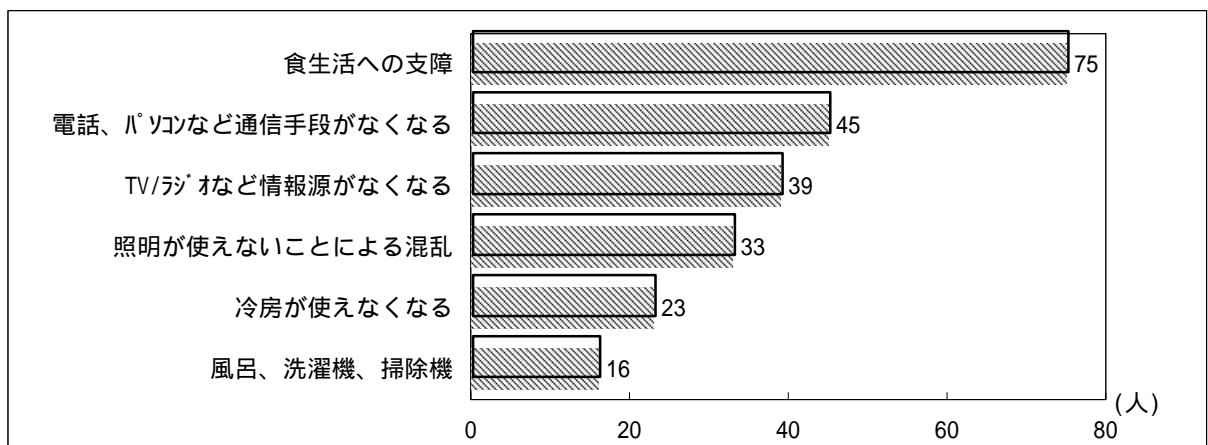
- ・ 原子力は将来的に無くすべきという意見もあるが、そのためのシナリオはあるのか。

「市民参加懇談会 in さいたま」事前アンケート結果

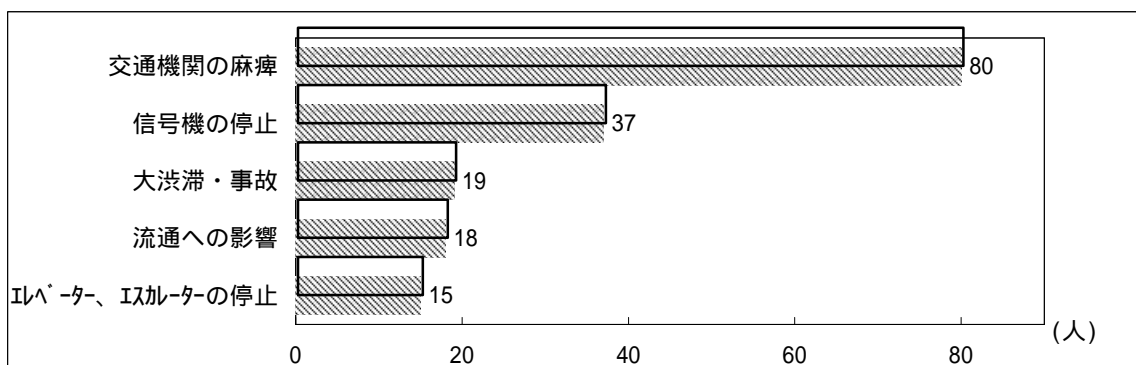
Q1. もしも首都圏で大停電が起きていたら、生活面にどのような影響があったと思いますか。思い浮かぶことがらをいくつでもお書きください。



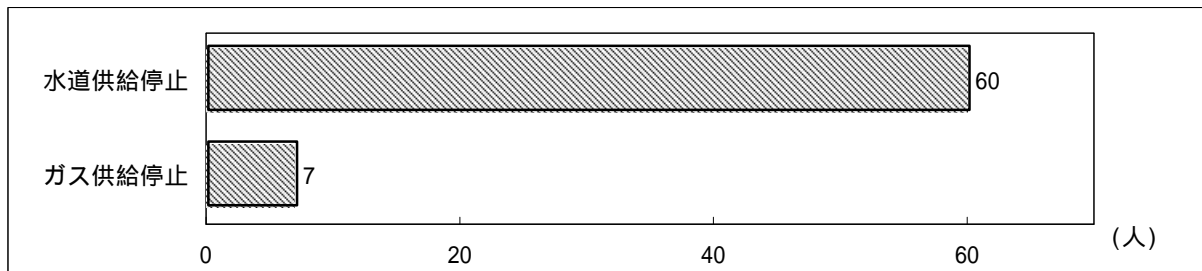
【家電関係の内訳】



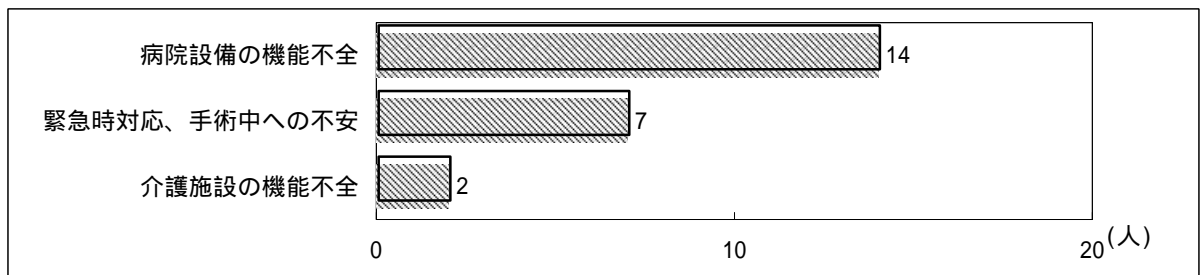
【交通/移動関係の内訳】



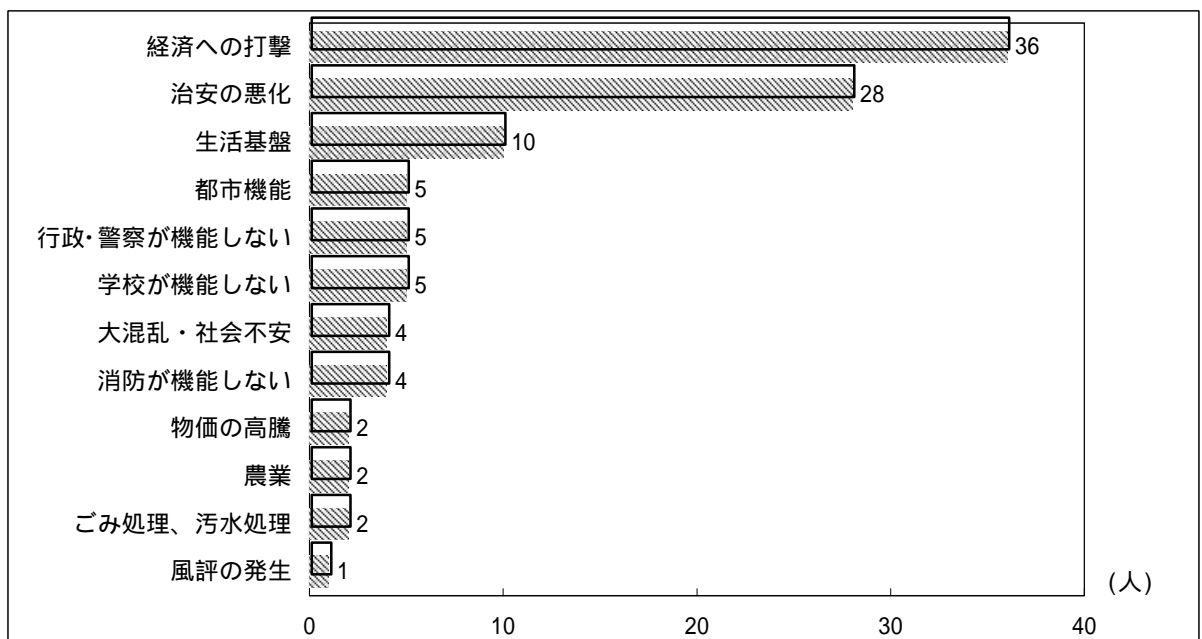
【ライフライン(水道・ガス)の内訳】



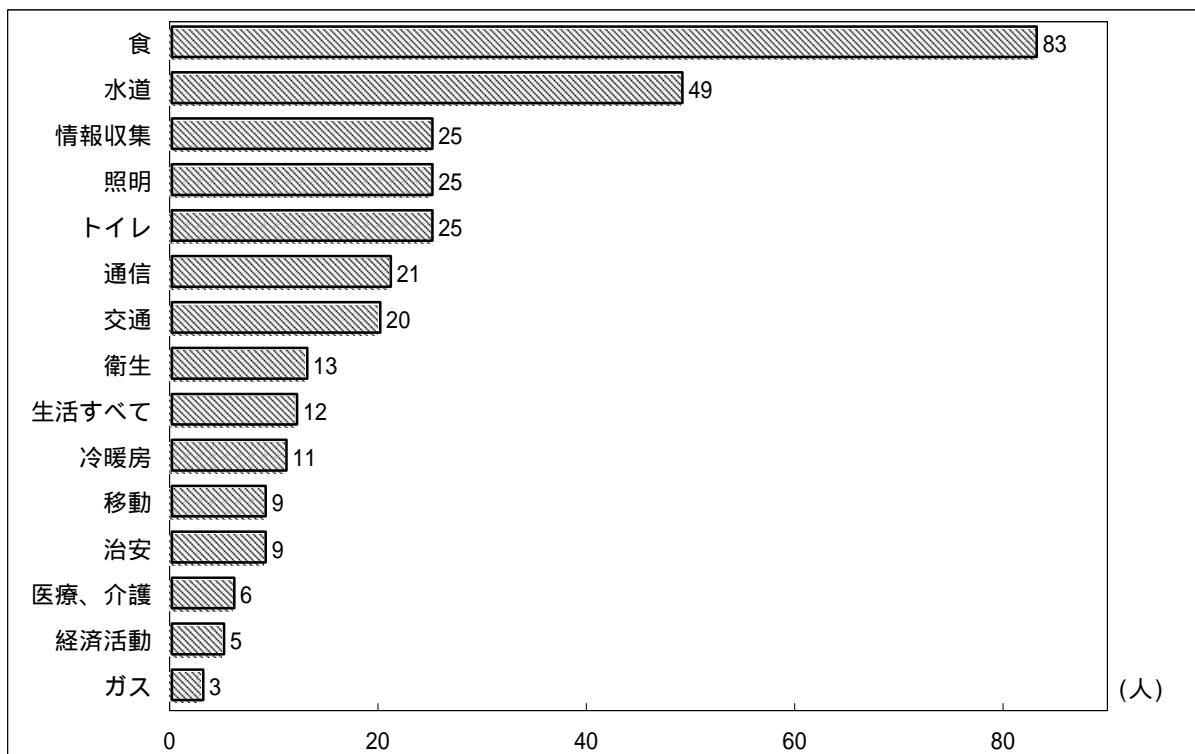
【医療関係の内訳】



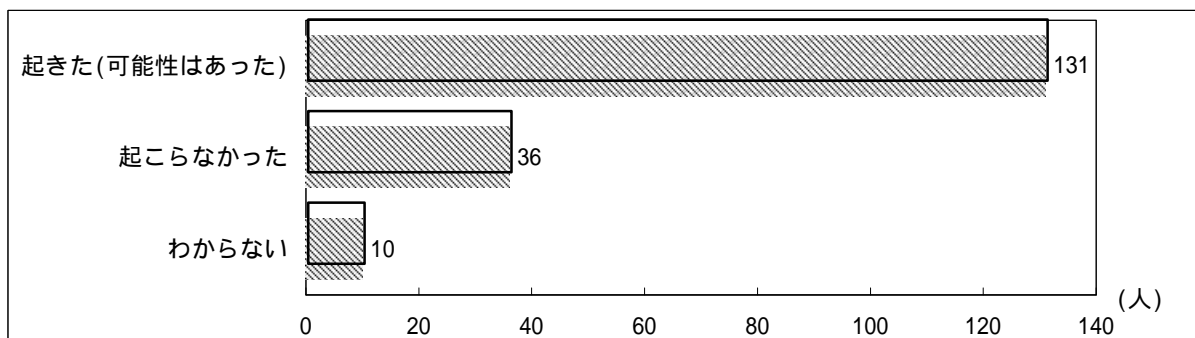
【その他】



Q2 . もしも大停電が起こっていたら、日常のくらしの中であなたは何に一番困ったと思いますか。

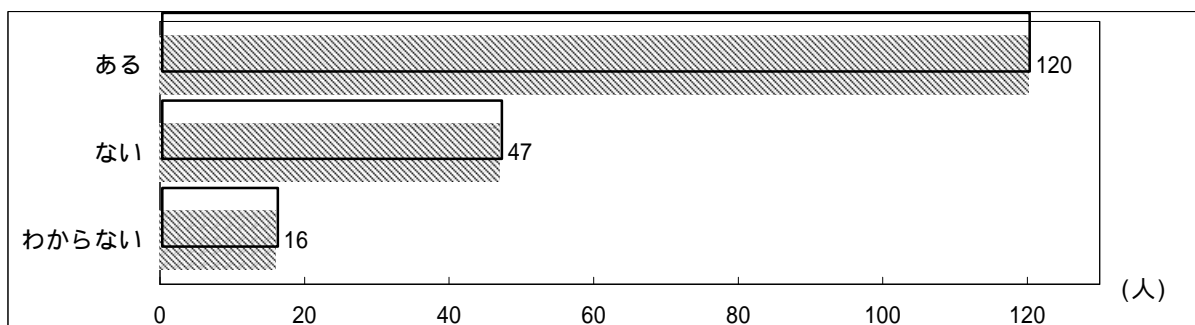


Q3 . もしも東京電力の 17 基の原子力発電所（総発電電力量の 40 %を占める）がすべて停まったままだったら、首都圏の大停電は起きたと思いますか。

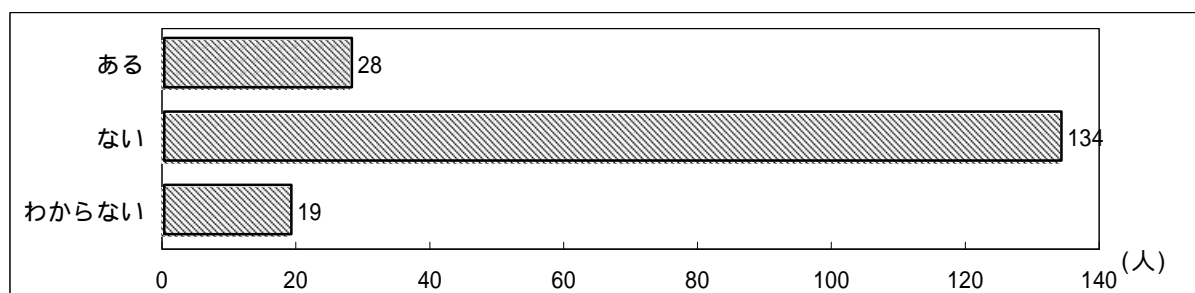


Q4 . 埼玉県に次の発電所はあると思いますか。

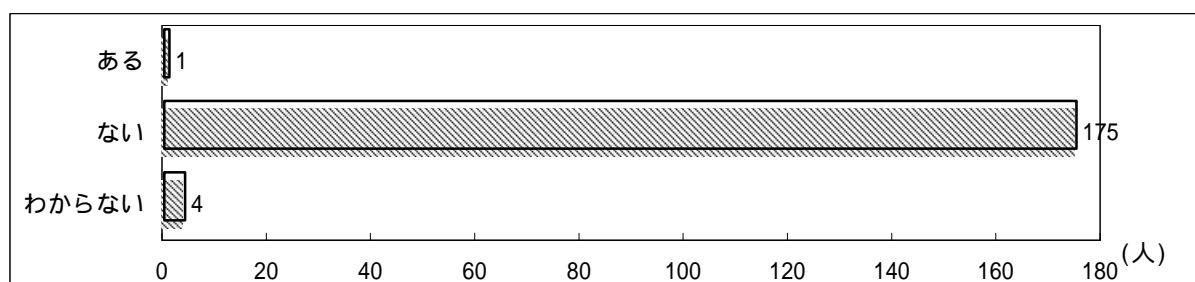
【水力発電所】



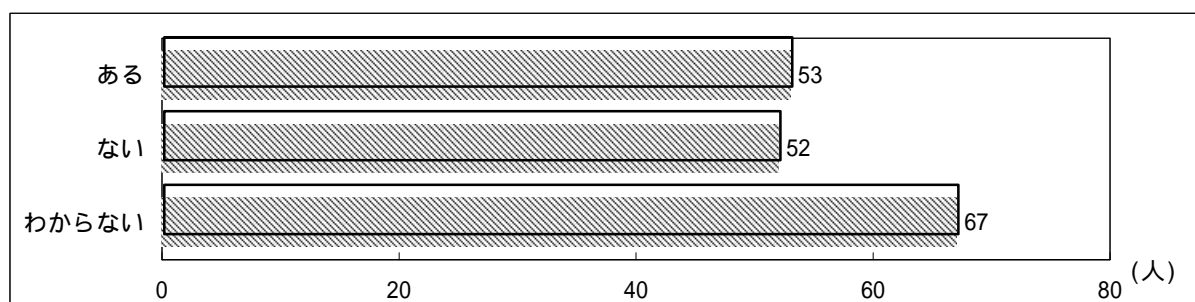
【火力発電所】



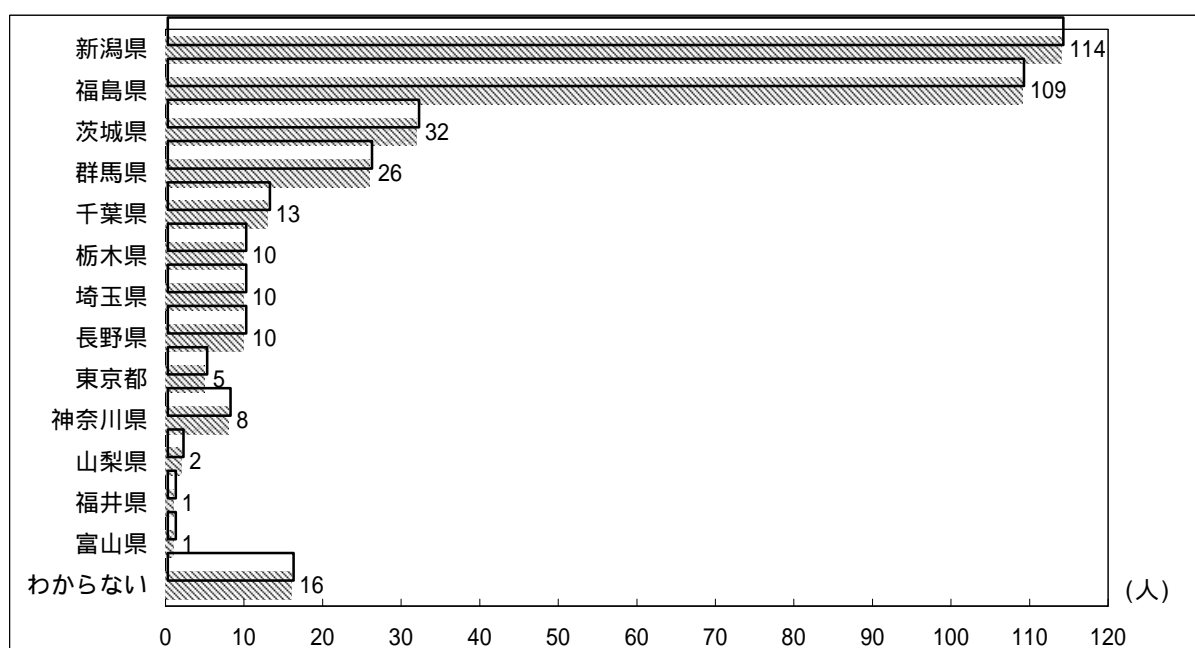
【原子力発電所】



【その他の発電所】



Q5. 埼玉県民が使う電気は主にどこで作られているかご存じですか



Q1 の意見例

- ・医療機関、金融機関における混乱、各種コンピューターシステムの不調。【東京都千代田区・男性】
- ・病院設備の機能不全【群馬県前橋市・男性】
- ・経済・生産活動のマヒ、交通・医療機関等すべての日常活動のマヒとパニック。
【埼玉県熊谷市・男性】
- ・テレビ、ラジオが見たり聞いたり出来なくなるので、情報源が断たれて困る。
【埼玉県さいたま市・男性】
- ・老人、幼児達は暑さに耐えられたか？病院の中はどうなっただろう。【埼玉県さいたま市・女性】
- ・外出先で大停電が起こったら、家へ帰れなくなる（交通機関がマヒする為）。
【埼玉県さいたま市・女性】
- ・夜は外では闇夜で治安が悪くなりそうで、生活が心配です。【埼玉県さいたま市・男性】
- ・団地なので給水塔に水がポンプアップできないと断水する。 【埼玉県上尾市・男性】

Q2 の意見例

- ・団地に住んでいるので、電気が止まると水、照明、エレベーターすべての日常生活が送れなくなります。8月にデパートの地下1階で雷による停電がありましたが、急に暗くなり非常灯だけしかとっていない状態が10分位続き恐ろしい思いを経験しました。【埼玉県さいたま市・女性】
- ・7階に住んで居りますので、エレベーターが動かなくなることが一番気になりました。
【埼玉県さいたま市・女性】
- ・食品の保存が出来なくなってしまう。洗濯が手洗いになってしまい大変。【埼玉県さいたま市・男性】
- ・冬は寒いし夏は暑いし、本当に身体の弱い人は大変だと思います。今の便利さになれているので、若い人はあたりまえの生活にたえられないと思います。我々の年代は何とか我慢が出来ると思いますが。
【埼玉県さいたま市・女性】
- ・銀行業務が停止し、決済ができなくなってしまうこと。【愛知県名古屋市・男性】

Q3 の意見例

- ・今年の夏くらい涼しければ、大停電は起きていない。例年の夏なら停電はあった。
【神奈川県茅ヶ崎市・男性】
- ・限られたエリアでの停電は起こったかもしれないが、広域な大停電は起きなかった。
【東京都千代田区・男性】
- ・地域別に時間別で送電できたのでは。勿論、全域で何時間かの停電はしたと思われるが。
【埼玉県さいたま市・男性】
- ・企業や住民の対応でそこまで行かないうちに、消費電力を減らすと思う。【埼玉県さいたま市・女性】
- ・夏季の気温が平年通りで、工場の稼働レベルが好況時並みであったならば起こり得た。電力管制システムには信頼性があり、米国東部で起こったような連鎖停電にはいたらなかっただろうが。電力融通上の制約も大きな不安定要因といえる。【埼玉県さいたま市・男性】